



山上先生！ お世話になりました

2月28日、2月最後の日でしたが玉之浦中学校から、毎週音楽の授業に来てくださっていた山上先生が最後の勤務となりました。

太鼓の指導で中学生は大変お世話になりました。運動会や学習発表会の太鼓の演奏は、中学生の自信になりました。とても明るい山上先生は、いつもどこかで笑い声が響いていました。児童生徒にも厳しくも優しく接していただき、感謝しかありません。昼過ぎに玉之浦にお帰りになるということで、全校児童生徒、職員で「お見送り」をしました。



記念撮影をみんなでしました。来年度、音楽科がどうなるかわかりませんが、いつかどこかでまたお会いしたいです。お世話になりました。



なわとびチャレンジ

小学生がチャレンジ（業間時間）の時間に、ずっと体育や朝の時間に練習してきた「なわとび記録会」を行いました。2回に分けて個人の部と大縄跳びにチャレンジです。個人の部は前の週に終了し、自己新記録がたくさん出ていましたが、さて大縄跳びは・・・。

結果は、記録40回で新記録には届かなかったようです。チャレンジは失敗だったかもしれませんが、子ども達は大満足の笑顔でした。次へのチャレンジは何でしょう・・・。

大縄跳びを回すのは、担任の尾崎先生、山下先生でしたが一番ヘトヘトになって疲れていたのは先生方だったかもしれません。何度も挑戦するたびに、ハアハアと息を切らして、頑張りました。先生方にも、拍手！！



圧巻！表彰伝達にて

2月は逃げ月といわれますが、本当にあっという間に過ぎ去っていきました。瞬きをしている間に3月です。先日、これまで文化面での活躍がめざましい子ども達の賞状が、やっと揃って表彰伝達式を行いました。本来なら、晴れがましい場所での受領になるはずであったと思いますが、学校での伝達となりました。全校児童生徒15名のうち、14名の表彰状授与は、圧巻です。一人だけ賞状がなかったのは、1月に転入してきている蒼奈さんだけでしたが、これは活躍の期間がなかったので、登壇できませんでした。これからたくさん機会があると期待したいと思います。

表彰は①県イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト優良賞、②五島市中学生英語暗唱大会最優秀賞の大櫛優樹さんを皮切りに、③五島列島小中・高校生短歌・俳句コンクール秀逸の細川優樹さん、④佳作に古野月夢さん。⑤五島市児童・生徒作品展書写の部入賞に古野月夢さん、狩野琉嘉さん、⑥版画の部入賞に白水南那美さん、⑦絵画の部入賞に狩野潤奈さん、蛭間壽之亮さん、⑧長崎県子ども県展デザイン部門特選に越山福太郎さん、一ノ瀬彩さん、⑨絵画部門入選に安部湊人さん、三上覚さん、小池碧さん、狩野潤奈さん、中野紗菜さん、蛭間壽之亮さん、⑩デザイン部門入選に狩野琉嘉さん、白水南帆さんが表彰を受けました。また、⑪長崎県子ども県展でデザイン部門の優良校として、中学校が表彰されました。

あまりの表彰者の多さに、いつもより長く時間が掛かってしまい、バタバタと片付けをして、余韻に浸る間がありませんでした。中には「どの絵が賞を取ったんですか？」と聞きに来る児童がいて、自分の才能に全く気付いていない様子でした。素晴らしい絵、書写、デザイン、版画…。一人一人の頑張った成果に、嬉しい悲鳴でした。



最後の読み聞かせ会

令和3年度の最後の読み聞かせ会がありました。最後の読み手になったのは、本年度限りで名古屋に戻ることにしている湊人さんです。

「じぶんだけのいろ」という絵本を読んでもくれました。湊人さんのゆっくりとした語り口は、聞いている人をすーっと絵本に引き込みます。鮮やかな絵本の色を見ながら、周囲に惑わされない色をほしいカメレオンが、一緒にいてくれる仲間と「変わっても良いじゃないか！」と気付いていくお話です。最後の読み聞かせにふさわしい内容でした。静かに余韻が残る良いお話でした。



令和3年度卒業式

3月15日(火)は中学校の卒業式です。本年度の卒業生は4名で、唯一の地元の中学生大櫛優樹さんもいよいよ卒業です。地域のみなさんには「とうとう卒業ですか」と声を掛けられます。その声には寂しさが混じって聞こえます。子ども達が大変お世話になりました。

卒業式は、地域の来賓の皆様と、保護者(実親・しま親)をお迎えし、祝っていただきます。紗菜さんは4年間、久賀にお世話になりました。壽之亮さんは2年と5ヶ月、潤奈さんは2年、ここで過ごしました。楽しい思い出を胸に15日巣立っていきます。



卒業を前に記念撮影がありました。全校児童生徒、職員で撮影の後3年生と担任の丸田先生、副担任の熊川先生の6人で撮影しました。しま留学生の3人は地元の高校を受検し、その結果、無事に3人とも第一志望に合格となりました。五島高校の合格発表は、卒業式の翌日です。